

平成25年度 木材利用推進全国会議 — 宣言 —

～ 木材利用推進の新たな展開に向けて ～

木材の利用は、人々の暮らし、地球環境の保全、農山村地域の振興等に大きく貢献するものであり、森林・林業・木材産業の維持発展や木材自給率目標の50%実現を達成していくためにも、その拡大を進めていくことが重要である。

木材の需要動向は、住宅着工の停滞等により全体としては停滞・伸び悩みの状況にあるが、人々の木材利用の関心は、国・地方自治体の施策、多くの関係者の永年の努力により、大きく広まりつつある。

このような中で、我々は、公共施設等のほか、住宅、商工業施設、身の回り用品などに多様な木材利用が促進されるよう、次の事項を重点として中央、地方、一丸となった新たな機軸での活動を展開していくこととする。

- 1 木材を活かす街づくりの促進
～ 住まい・商工業・店舗・公共施設等の街空間、身の回り用品などへの多様な木材利用促進 ～
- 2 公共建築物等や農林水産、道路等公共土木工事における最大限の木材利用促進
- 3 間伐材・未利用材の木質バイオマスエネルギー利用等の促進
- 4 多様な分野で利用が進展できる木材の製品・生産技術開発並びに新たな利用技術開発などの促進
- 5 安全・安心のJAS等木材製品、合法性証明の木材・木製品などの供給・利用の促進
- 6 東日本大震災の復旧・復興に不可欠な木材・木質資材の需給安定の取組み
- 7 需要者・消費者、行政関係機関との徹底した連携による、木材利用推進の展開

平成25年7月29日
木材利用推進全国会議